

令和6年度全国学力・学習状況調査 朝来市小学6年生と中学3年生の 生活習慣や学習環境等に関する 質問調査の分析結果



令和6年4月18日（木）実施

調査の概要

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることが目的です。

調査の内容

児童生徒に対する生活習慣や学習環境等に関する質問

児童・生徒質問について

定着していると考えられる生活習慣や自己意識

小学校

- ☺ 基本的な生活習慣は、おおむね身につけている。（朝食、起床就寝時刻など）
- ☺ 人権意識を持ち、互いに助け合い、望ましい人間関係を築こうとする児童が多い。
- ☺ 友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に主体的に取り組む児童が多い。

中学校

- ☺ 基本的な生活習慣は、おおむね身につけている。（朝食、起床就寝時刻など）
- ☺ 地域・社会や人の役に立ちたいと思う生徒が多い。
- ☺ 友達関係がおおむね良好で、学校を楽しんでいる生徒が多い。

定着を維持するための取組

小学校

- 👉 規則正しい生活習慣を意識するために通信等で発信したり、栄養教諭や専門家等からも児童への生活・食育・保健指導を行ったりして、家庭との連携を継続する。
- 👉 道徳教育・人権教育を継続して取り組んだり、同学年だけでなく異学年での交流を図ったりすることで、助け合う温かい雰囲気集団を作っていく。

中学校

- 👉 定期的な教育相談を行い、家庭での様子を把握する。また、毎日の生活記録を通して、規則正しい生活ができるよう助言を行う。
- 👉 道徳科の授業や生徒会・学級での討議を通して、相手を理解し、お互いを思いやる心の醸成を図る。

課題があると考えられる生活習慣や自己意識

小学校

- ☹ ゲームや SNS・テレビ視聴の時間に対して、家庭での学習時間が少ない。
- ☹ PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、自己の考えと友達の考えを比較・共有し、見方・考え方を広げる学習活動が少ない。

中学校

- ☹ 平日・土日関わらず、ゲームや SNS・動画に触れている時間が 2 時間以上の生徒が多く、家庭学習の時間が十分にとれていない。
- ☹ 将来の夢や目標を持っている生徒の割合が低い。
- ☹ 課題解決のために、よくわからない点を見直したり、自分で考えて次の学習につなげる生徒の割合が低い。

課題を改善するための取組

小学校

- 👉 生活点検表や家庭学習の手引きなどの活用や「ノーマディアデー」の推奨等、家庭に呼びかけ、連携して取り組む。
- 👉 自分の考えと友達の考えを比較・共有する場面を設定し、ICT 機器を有効に活用した授業を行う。

中学校

- 👉 体験活動等を通して、将来を見据えたキャリア教育の充実を図る。また、生徒会活動の取組を通して、家庭での生活や学習の仕方について啓発していく。
- 👉 生徒自身が SNS の使用マナーやルールを考える時間を作り、保護者にも家庭でのルール作りを呼び掛けていく。
- 👉 協働的な学びを取り入れ、問題解決に向けてお互いの考えを出し合いながら、人と関わることを学び、お互いを理解していく機会を増やす。

取組紹介

SNS等のネット利用やネットリテラシーに関する市内中学校

普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上テレビゲームや動画視聴をしている生徒が全国では約50%います。（朝来市も同様）。そのような中、携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束がない生徒が朝来市には、約20%います。このことが、学習や読書などの時間を取ることができない一因かと考えられます。

そこで、これらをふまえ市内中学校では、生徒会を中心にスマートフォンなどとのより望ましい付き合い方を目指し、取り組んでいる例があります。

- 生徒会等でのスマホルール作り
- 専門家と連携したサイバー犯罪被害防止教室の実施
- デジタルデトックスDAYの取組
- 長期休業前の警察の方による講話
- 懇談会等での保護者への呼びかけや啓発



各ご家庭でも、携帯電話・スマートフォンやコンピュータとのより良い付き合い方等の使用ルールづくりをお願いしたいと思います。一緒に話し合いながら使用ルールを設定することで、子どもたちも納得感が得られ、家庭学習や読書などの時間を確保していくことができると考えます。